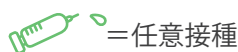


ワクチン情報



= 定期接種



= 任意接種

五種混合（DPT・IPV・Hib）ワクチン

令和6年4月1日より、四種混合+Hibの五種混合ワクチンが定期接種になっています。（当院の推奨接種スケジュールをご確認ください。）

MR2期

【対象者】接種時期は小学校就学前の1年間
現在の対象者は令和2年（2020年）4月2日～令和3年（2021年）4月1日生まれの方です。対象年齢の方は接種をお忘れなく！
一昨年度の対象者（平成30年（2018年）4月2日～平成31年（2019年）4月1日生まれの方）でワクチンの供給不足等で接種を受けられなかった方は、令和9年3月31日まで接種期間が延長されます。

日本脳炎

新ワクチンでの接種が開始されています。これまでの積極的勧奨の差し控え（H17～21年度）の影響で接種の機会を逃した方も、「特例対象者」として、定期接種が受けられます。その中でも、積極的勧奨の対象となる方には案内が届きますので、第1期（3回）の未接種分の有無をご確認いただき、特に接種をお勧めします。

【特例対象者】平成19年（2007年）4月1日まで生まれで20歳未満の方

【標準の対象者】1期＜3歳以上7歳6か月未満＞＝4週間間隔で2回、1年後に1回追加、計3回。
2期＜9歳以上13歳未満＞＝1回



感染症ニュース



- ・新型コロナウイルス感染症が流行しています。
- ・手足口病やヘルパンギーナをはじめ、口内炎や発疹（一部じんましん）を伴う夏かぜ感染症がかなり流行しています。
- ・咳が長引いたり気管支炎・肺炎を引き起こすかぜが引き続き流行しています。
マイコプラズマ感染症、RSウイルスやヒトメタニューモウイルスが多く見られます。
- ・溶連菌感染症が流行しています。
- ・ウイルス性胃腸炎や細菌性の胃腸炎が見られます。
- ・胃腸炎症状を伴う、熱の長引くかぜ（アデノウイルスまたは類似の感染症）が流行しています。
強い結膜炎症状を伴う場合は、咽頭結膜熱（プール熱）といわれます。

マイコプラズマとは

マイコプラズマは細菌の一種で、正式名称は「マイコプラズマ ニューモニエ」といいます。呼吸に関係する気管支に感染し、風邪、肺炎、気管支炎などを引き起こします。新型コロナウイルス感染症やインフルエンザなどを引き起こす「ウイルス」とは異なり、マイコプラズマは「細菌」です。

そのため、マイコプラズマの治療には抗菌薬を使用します。しかし、マイコプラズマには一般的な細菌が持つ「細胞壁」という細胞の形を作る壁が無く、細胞壁に作用する抗菌薬は効果がありません。そのため、マイコプラズマに効果のある抗菌薬（マクロライド系・ニューキノロン系）を選んで処方し、治療を行います。マイコプラズマ肺炎と風邪の初期症状はよく似ており、どちらも発熱やだるさ、のどの痛みなどです。しかし、普通の風邪は3日ほどで徐々に回復に向かいますが、マイコプラズマ肺炎は回復どころかどんどん咳がひどくなります。日にちが経つにつれて咳が悪化する場合は受診してください。診察の上検査を行い診断します。抗菌薬を処方された場合はしっかり飲み切ってください。